

1 【出題の意図と対策】

文学的文章（小説）の読解で、ここでは、原宏一の『佳代のキッチン』が題材です。行方不明の両親を捜す佳代と、息子と対立して家を出た旅館の元女将のばあちゃんとの交流が描かれています。小説を読むときには、登場人物の立場に立って、その境遇や心情に寄り添いながら読むことが大切です。そのうえで、それぞれの設問について、何が問われているのか、文章中のどの部分が根拠となっているのかを確認しながら、解答していきましょう。

【解答】

- ① a すき b しょうじん
- ② ア
- ③ 例 お母さんを思う気持ちを理解し、正志さんを認めてあげてほしい（29字）
- ④ ウ
- ⑤ X だめになる
- 例 反対する人がいないといけないし、自分がいては従業員に示しがつかない（33字）
- ⑥ エ

【解説】

- ② ポイント《慣用句の意味を正しく理解できるかどうか》
ア「呼び水」は、きっかけとなるもの、動機づけとなるものを意味します。ばあちゃんの「つらい思い、したんやろな」という言葉が、佳代に親子の話をするきっかけを与えたという文脈に適しています。イ「冷や水」は冷水のことですが、「年寄りの冷や水」（年甲斐もなくの意味）、「冷や水をあびせる」（意気込みをくじくの意味）といった表現で使われます。ウ「藪蛇」は余計なことをして災いを招くこと、エ「蛇足」は不要な付け足しのことです。
- ③ ポイント《文章の内容を正しくまとめられるかどうか》
佳代の発言の「正志さんがどんな思いでお母さんを見守っているのか。その気持ちだけはわかってあげてほしいんです。そして、どうか意地を張らずに、正志さんのことを認めてあげてください」に着目します。「だけは」「どうか」ということばで強調しているとおり、正志さんのお母さんへの気持ちをわかってあげてほしい、そして正志さんを認めてあげてほしい、ということ伝えていいるのです。この二点を字数内でまとめます。
- ④ ポイント《文章の内容を正しく理解できるかどうか》
ばあちゃんの発言に着目します。ウは、「きつとうまくいく」が誤りです。ア・イ・エは、ばあちゃんの発言や考えに合っています。ばあちゃんは自分たちではじめたことを、うまくいかないからといってすぐに逃げるのはよくないと二人に伝えていきます。
- ⑤ ポイント《文章の内容を正しくまとめられるかどうか》
ばあちゃんが正志を突き放した理由は二つあります。一つは佳代の両親に対して「あそこで突き放さなったら二人はだめになる」と思ったように、正志の成長を願うこと。もう一つは「新しいことをやるんやったら反対するもんがおらんといかんし、……わしがおったらいかん。従業員に示しがつかん」という経営上の配慮です。Yは、この二つの「いかん」内容を字数内でまとめましょう。
- ⑥ ポイント《文章の表現の特徴について理解できるかどうか》
アは、「かたくなに耳をふさいでいる」が誤りで、実際はばあちゃんが深く考え込んでいる様子です。イは、佳代は、自分の話が受け止められたのか自信がなくてたまたみかけたので、「自分の気持ち^めが伝わったという佳代の確信」が誤りです。ウは、佳代が目^め顔で伝えているのは「もっと詳しく聞きたい気持ち」ではなく、ばあちゃんの話への共感です。エの「どれ、呼ばれよか」は、佳代の両親や正志のことについて伝えたいことは伝えられ、さあ料理をいただこうかという、ばあちゃんの意思を佳代に伝えているので、適切です。

2 【出題の意図と対策】

説明的文章（随筆）の読解で、題材は、齋藤孝の『発想力 あなたの発想力を豊かにする29のヒント』です。砂時計や花火と比較しながら、オルゴールのもつ「時間の凝固」や「もの悲しさ」について筆者の感性的な考察が述べられています。随筆を読むときには、具体的な体験や印象から筆者がどのような感想や考えを導き出しているかを読み取ることが大切です。また、比喩的な表現や感覚的な記述から、筆者の美意識や価値観を理解する力も求められます。

【解答】

- ① b 強烈 d 閉（じ）
- ② エ
- ③ イ
- ④ 例 パチパチと途切れながら瞬く様子と終わり方があつけないところ（29字）
- ⑤ X 中身が見えるもの Y 心象風景を揺さぶるもの
- ⑥ エ

【解説】

- ② ポイント《文法（助動詞）の知識があるかどうか》
「ぬ」に言い換えることができる「ない」は否定の意味を表す助動詞、言い換えることができない「ない」は形容詞、または「はかない」などの形容詞の一部です。傍線部「飽きない」の「ない」は、「飽きぬ」と言い換えることができるので助動詞です。
- ③ ポイント《文章の内容を正しく理解できるかどうか》
筆者がオルゴールの音楽を「すでに終わっている音楽」と表現したのは、時間の流れの中で生まれるべき音楽が「トゲの生えた丸い筒にモノとして凝固してしまっている」からです。その内容に合うのはイです。アは「演奏者の感情」について本文では触れられていません。ウは「次第に遅くなる」、「完成度が低い」という内容は本文に書かれていません。エは「繰り返し」や「退屈」という内容は本文では述べられていません。
- ④ ポイント《文章の内容を正しくまとめられるかどうか》
線香花火とオルゴールの類似点が書かれた部分をさがします。線香花火の「パチパチと途切れながら瞬く様子は、……オルゴールの音と似ている」「線香花火も、終わり方があつけない」とあります。オルゴールの「曲の途中なのに寂しくぼつんと終わってしまう」ところと、線香花火の「終わり方があつけない」ところが似ていると筆者は捉えているのです。音の出方と終わり方の二点を、指定語句を使って字数内でまとめましょう。なお、指定語句の「終わり方」は「線香花火は、花火のわりには終わり方がはっきりしない。時間の流れの中で味わうものだ」の中にも出てきますが、これはオルゴールにはない線香花火だけの特徴であるため、類似点には含まれません。
- ⑤ ポイント《文章の内容を正しく理解できるかどうか》
文章全体から、筆者のオルゴールに対する考え方を読み取ります。Xは、冒頭で「オルゴールは中身が見えるものが私は好きだ」と明記されています。Yは、最後の一文に「オルゴールは心象風景を揺さぶるものなのだ」と書かれています。
- ⑥ ポイント《文章の内容を正しく理解できるかどうか》
エは、最後の段落の宮沢賢治についての記述と一致します。アは、礫木の短詩は、力を入れてもこぼれ落ちる砂の性質が、はかない存在や、人の手に留めておけないものの象徴として描かれています。よって、「永遠に消えない確かな存在を感じ取っている」が誤りです。イは「砂時計をひっくり返す瞬間」、ウは「目で見る美しさではなく」が本文に書かれていない内容です。

3

【出題の意図と対策】

平安時代の随筆『枕草子』の冒頭部分とそれについての解説文の読解問題で、筆者は山口仲美です。『枕草子』の作者である清少納言の風景描写の斬新な点について、二つの観点から論じています。第一に、それまでの散文文学にはなかった現実の風景を正面に据えた描写をしたこと。第二に、時間の観点から風景を切り取るという独自の視点を示したことです。古典文学は難解に感じられるかもしれませんが、まずは注釈や解説文で内容を理解し、そのうえで古典特有の表現や美意識を学んでいきます。今回の出題は解説文ですので、筆者の主張を正確に読み取り、『枕草子』の文学史的意義を理解して設問に答えていきましょう。

【解答】

- ① エ
 - ② X
 - ③ Y
 - ④ I
- 【例】桜の美しさではなくあけぼの（13字）
II ある一瞬の静止画

【解説】

① ポイント《古典の内容を正しく理解できるかどうか》
冬の段の内容を確認します。冬の早朝の雪や霜の美しさについて述べた後、「火などいそぎおこして、炭持ってわたるも、いとつぎぶきし（火を急いで起こして、炭を持って行き来するもの、とても似つかわしい）」とあることから、イが正解です。アは「山々」の風景であるとは書かれていません。ウは「昼になりて」以降の内容で、これは「わろし」、つまり美しくないものとして述べられています。エは「雪の降る日の早朝に」と限定している点が「さらでも（雪や霜がなくても）」に反するので誤りです。

② ポイント《文章の内容を正しく理解できるかどうか》
『枕草子』以前の文学作品、たとえば『土佐日記』には、「海が荒れたという記述はあるのですが、その時の船から見た海の情景などは描かれていませんでした。それに対して『枕草子』は、作者が実際に目にしてしている風景の「魅力を描写している」、「自然美を的確に鮮明に描写している」のです。これを説明したエが正解です。アは、文章中に「風景に触れる文章はあるのですが」とあるので合っておりません。イは、「風景描写を借りて作者の心情が描かれている」のは、『枕草子』ではなく『蜻蛉日記』です。ウは、『枕草子』に描かれているのは架空の風景ではなく現実の風景なので合っておりません。

③ ポイント《文章の内容を正しく理解できるかどうか》
清少納言の文章についての筆者の考えを捉えます。『枕草子』の原文に続いて「第一に、風景を正面に据えて描写していること」と、「第二に、その風景が誰も思いつかないような視点から描写されていること」が斬新だと簡潔にまとめられています。この内容を十五字で表現した箇所を探します。Xは、『土佐日記』の説明部分に「風景そのものを正面に据えた描写」とあり、Yは最後から二つ目の段落に「時間の観点から切り取られた風景」とあるのが見つかります。

④ ポイント《文章の内容を正しくまとめられるかどうか》
Iは、文章後半、『枕草子』の春の段の解説部分に注目します。春の感動的な風景として「多くの人は『桜の咲き乱れた風景』と答える」ように、「咲き乱れる桜の美しさ」は感動的です。しかし、清少納言は、「春で最も感動的なのは『あけぼの（夜明けの頃）』と言います。……思わず『えっ』と意表を突かれます」とあります。空欄の前後にうまくつながるようにまとめましょう。IIは、絵画と『枕草子』を比較して述べた最終段落に着目し、絵画は、「ある一瞬の静止画」であることを捉えます。

4

【出題の意図と対策】

近年「読む」能力とともに、「話す・聞く・書く」能力の育成に力が入られています。入試においては、「書く」能力を判定する記述式の問題とともに、スピーチ・発表・話し合いなど、「話す・聞く」能力を判定する会話形式の問題も頻繁に出題されています。今回のように資料と話し合いの融合問題では、話し合いのテーマや各自の意見の読み取りはもろろん、資料のどこに着目しながら話し合いが進められているのかを正確に読み取ることが大切です。

【解答】

- ① エ
 - ② ウ
 - ③ イ・オ（完答・順不同）
 - ④ Y
- 【例】イ（Y・Zで完答）
Z（具体的には）川や海の清掃活動に参加したいと思う。そうすれば、海の魚がマイクロプラスチックを食べ、それを自分たちが食べて健康を損なうリスクを減らせると思うからだ。（74字）

【解説】

① ポイント《熟語の構成がわかるかどうか》
「削減」は「削る」「減らす」と似た意味を組み合わせた熟語です。同じ構成なのは、二字とも「あたい」の意味をもつエ「価値」です。アは「温かい泉」で上の字が下の字を修飾する組み合わせ、イは「職に就く」で下の字が上の字の目的語、ウは「おこる」「ほろびる」と反対の意味の漢字を組み合わせた熟語です。② ポイント《資料を論理的に読み取ることができかどうか》
「由芽さんの意見が論理的なものとなるために」という設問文の条件に注意して考えましょう。アは、マイボトルを常に使っている人は18・3%、常に使っていない人は34・7%なので「半分以下」が誤りです。イは、「レジ袋を辞退する」の項目も8割を超えているので、「8割を超える項目はない」が誤りです。ウは、「ごみ削減を意識している」の項目の読み取りとして適切です。エは、「していない」に該当するのは、「あまりしていない」、「していない」の合計なので23・0%、「常にしている」は24・1%なので、「多い」ではなく「少ない」の誤りです。

③ ポイント《発言の特徴を理解できるかどうか》
アは、涼さんが資料を提示しているのは三回目の発言ですが、「そういうことだね」としか言っていないため、「ここまで発言を補足してまとめたのち」が誤りです。イは、由芽さんの三回目と四回目の発言内容に合っています。ウは、「自分から疑問を投げかけたりし」てはいないので誤りです。エは、晴子さんの一回目の発言にあたりますが、「答えのわからない部分について重ねて質問して」はいないので誤りです。オは、朝日さんの一回目と二回目の発言内容に合っています。

④ ポイント《資料を適切に利用して、論理的な文章が書けるかどうか》
ア……今ある施設とは、ごみの最終処分場やごみ処理施設などです。すぐ使わなくなるものはレンタルを利用する、商品の過剰包装を避ける、衝動買いをしないなど持ち込まれるごみを減らす対策を行えば、その寿命を延ばすことができます。ウ……紙資源やペットボトルなど、ごみの分別をしっかりと行う、ストローなどプラスチック製品の使い捨てを減らすなどの取り組みを行えば、石油などの資源エネルギーの使用を減らすことにつながります。ごみの削減ではないですが、自家用車や通信販売の利用を減らす、電気を消すなどの方向でも正解です。

エ……道や川に落ちているごみを拾う、清掃活動に参加するなどを行うことで、海に流れ着くごみを減らし海の環境を守ることができます。山のごみを拾うことで生態系を守るなども正解です。